

江戸の情緒を店蔵造りに残し暖簾を守る

つなしまししょうてんてんぼ
ヤマニ綱島商店店舗



古くは魚河岸であった旧仲片町（通称「さかんだな」）に軒を連ねた老舗商家で、戦前のたたずまいを残す市内でも数少ない建物です。乾物等を商い、現在でも暖簾を出して古き時代の歴史的景観を守っています。江戸時代に神奈川県綱島村から木更津へ移住したと伝えられています。以前は魚屋を営んでいましたが、慶応2年(1866)に現在の商店を創業し、乾物等の商いを始めました。道路に面した土蔵造り風の平入り店舗（前店蔵）と、その奥に同じく土蔵造り風の仕事場（中店蔵）がある2棟の古い建物が並んでいます。昔の中店蔵では、きな粉や片栗粉などの粉物の袋詰めや干し椎茸の選別などの作業をしていました。この前店蔵と中店蔵の外壁は、30 cmを超える厚さの白漆喰で土蔵風に仕上げられています

国登録有形文化財：建造物

登録年月日：平成 23 年 7 月 25 日

所在地：木更津市中央 2-5-9

所有者：個人

員数：1 棟

公開・非公開の別：公開（外観のみ）

※「登録文化財制度」は、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する制度で、国や地方公共団体が指定していない有形文化財が登録されます。

従って、国宝・重要文化財・都道府県指定文化財・区市町村指定文化財とは区別しています。